

平成 20 事業年度事業計画（案）

1. 岡山大学同窓会総会等の開催

- ・ 月日 平成 20 年 7 月 5 日（土）
- ・ 場所 岡山大学創立 50 周年記念館

2. 岡山大学同窓会ホームページの更新

- ・ 掲載内容を最新情報に更新

3. 岡山大学同窓会誌の発行

- ・ 20 年度以降も当分の間、同窓会誌を発行

4. 岡山大学同窓会活性化のための検討WGの設置

(1) 目的

全学同窓会活動を活性化するために、WGを設置し、有効な方策を検討

(2) 構成員

全学同窓会役員及び学部同窓会から推薦された者 若干人

(3) 検討課題（案）

- ・ 広報活動の充実
- ・ 新規事業の企画・立案
- ・ 学部同窓会との連携 等

岡山大学同窓会新規事業提案

資料4 - 2

事業の名称	同窓会の支部組織設立とその活動支援事業	岡山大学学生の教育・研究活動に関する助成事業	地域支援事業
事業の目的	<p>岡山大学は、H16年4月に国立大学法人化した。それに伴い全学の同窓会設立の機運が生じ、H18年7月に岡山大学同窓会が発足したばかりである。</p> <p>従って未だ日も浅く設立趣意のPR不足もあるが、各学部同窓会に比し帰属意識も希薄であり、各学部同窓会間の交流もままならぬ状況にある。</p> <p>今後、卒業生が誇りを持って母校及び各学部の同窓会の発展に寄与し、会員相互のさらなる親睦を図り、併せて社会に貢献するためには、岡山大学同窓会の支部組織をつくり、その活動を支援していく必要がある。</p>	<p>岡山大学の社会が求める人材育成に寄与するために、岡山大学同窓会が学術・文化・スポーツなどに優れた活動を企画し、実践しようとしている現役学生(学部生・大学院生)のグループに対して一定の資金援助を行うものである。</p>	<p>これからの大学は、地域に密着し、地域を盛り立てることができなければ、存続は難しいと思われるため、大学が持つ知識や技術を地域へ還元する。</p>
事業の内容	<p>(1)全国を幾つかのブロックに分け、全学部の同窓会支部組織をつくる。</p> <p>(2)毎年、各支部に於いて全学の同窓会交流会を開催する。</p> <p>(3)各支部において記念講演(公開)及び懇親会などを行う(できれば岡山大学に講師派遣を依頼する)。</p> <p>(4)支部活動状況を岡山大学同窓会ウェブサイト並びに同窓会報に掲載する。</p> <p>(5)支部組織を通じて『岡山大学21夢基金』に協力する。</p> <p>(6)同窓会本部は、各支部との連携を密にし、岡山大学の事業を支援する。</p>	<p>(1)対象となる活動は、課外活動・教育研究・教育研究の環境整備・社会貢献などに関するもの。</p> <p>(2)活動対象期間は、1年単位</p> <p>(3)1件10万円～30万円 総額300万円</p> <p>(4)応募の後、選考する。</p> <p>(5)実績報告を求める。</p>	<p>地域支援センターを設立し、法学部は法律相談、経済学部は経営指導といったように、各学部でできる地域支援を同窓会が主催となって実施する(特に文系学部重点を置く)。</p>
他の参考事例		<p>広島大学同窓会「ドリームチャレンジ賞」 (現役学生のチャレンジ活動資金)</p>	
提案者	小谷 秀成 (医学部同窓会・全学同窓会副会長)	小谷 秀成 (医学部同窓会・全学同窓会副会長)	北川 清 (法文経学部同窓会 名古屋支部)

岡山大学同窓会新規事業提案

事業の名称	同窓会会員による企業研究セミナー	
事業の目的	<p>企業の実態を、学生が身近に理解できる機会を提供し、さらに社会の第一線で活躍している先輩とのホンネの交流を通じて、学生が、①卒業後の進路を深く考え、②在学中の勉学を動機付ける、一助とする。</p> <p>また、先輩である同窓会会員には、母校との関わりや後輩への支援を通じて、母校への求心力を高め、力強いサポーターにならしめる。</p>	
事業の内容	<p>業種別に分けて、次の内容のセミナーを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一部：個別企業で活躍する同窓会会員によるプレゼンテーション 一人30分程度で各企業に就業している会員が、個々の職業人としての経験談や考え方、さらには就業している企業の経営戦略、環境経営、求める人材などのテーマで学生に講演を行う。 ・第二部：質疑応答 学生からの質問に自由に答える形式で交流を行う。 <p>具体的には、企画・立案・会場設定・広報・宣伝は岡山大学同窓会が主宰し、講演する業種の選定や業種ごとの発表者の人選などについては学生支援センターが担当するのが適切と考える。</p>	
他の参考事例	<p>セミナーの運営については、学生支援センターが毎年行っている合同会社説明会の開催方式が参考に出来る。</p>	
その他	<p>ただし、単なる会社説明会にならないよう、卒業生と在学生在がホンネで交流できるよう、運営に配慮が必要。</p> <p>また、理系、文系各学部の学生がそれぞれ関心を持てるよう、講演する会員の業種の工夫も必要。</p>	
提案者	環境理工学部同窓会	